

# インタビュー

Hellohas Robotics (ハロボティクス、東京都千代田区) は、2022年に設立されたばかりのベンチャー企業。海外製のサービスロボットを取り扱う商社事業を展開するとともに、世界に通用する日本発のサービスロボットの開発も目指している。今回、代表取締役の山谷健氏に話を伺った。

Hellohas Robotics  
代表取締役

## 山谷 健氏



「Hellohas Roboticsを創業した。貴社の事業について教えてください。」

「まずは、略歴から伺います。」

山谷 公認会計士として、KPMG有限責任あずさ監査法人やEY新日本有限責任監査法人で監査業務、IPO支援などに従事し、17年からはP

# 日本発のサービスロボを世界へ

受けるとともに、アジアのシリコンバレーとも呼ばれる深圳での急速な発展を肌で感じ、このままでは日本が世界から取り残されてしまうとの危機感も感じた。そこで、日本のベンチャーの海外進出支援などを旨とし、コンサルティングをはじめとした総合サービスを提

山谷 現在は商社事業とコンサルティング事業を主体に展開している。商社事業では、Orion Star社(中国)のAI案内ロボット「Mini」や配膳ロボット「Lucki」をはじめ、倉庫作業用ロボット、ホテル向けの運送ロボット、噴霧除菌ロボットな

インクも提供できる。また、当社の出資者にはマーケティング関連の企業もあるため、マーケティングコンサルティングも行える。そのため、例えば、飲食店にサービスロボットを導入する際に、店舗のブランディングやマーケティングなども合わせて提供できることが

他社にはない大きな特徴だ。——そのほかに取り組んでおられることはありますか。

山谷 当社では、日本の技術を融合した新たなサービスロボットを開発し、海外に発信・展開することも重要な事業テーマとして定めている。そ

業の技術なども融合し、日本発の新しいサービスロボットとして世界に発信していきたい。当社としては、地方の中小企業を持つものづくりの技術やITベンチャーが有する先端のソフトウェア技術など、日本に点在している優れた技術を当社がハブとなって融合していくことで、グローバルベンチャーとしての地位を築いていきたいと考えている。

WC深圳/香港にて、華南エリアへ進出している日系企業に対する総合コンサルティング業務に携わった。そのなかで現地日本メーカーのものづくりに対する姿勢に感銘を

供するAOGB Groupを共同で創業。さらに、今後の市場拡大が見込まれ、日本のものづくり力が活かせる領域としてサービスロボットに着目し、22年8月に当社H

「コンサルティング事業については、山谷 ロボットの導入に向けたコンサルティングはもろろんのこと、私

「23年の方向性についてお聞かせ下さい。」

山谷 近々に新たな資金調達を実施する予定で、事業体制を強化していきたい。日本発のグローバルベンチャーとしてサービスロボットを自動車産業に続くような日本の新しい産業にしていきたいと思う。

「聞き手・副編集長 浮島哲志」



商社事業で幅広いサービスロボットを取り扱っている。

「23年の方向性についてお聞かせ下さい。」

「聞き手・副編集長 浮島哲志」

「聞き手・副編集長 浮島哲志」